



アガパンサス

常緑・夏緑／多年草／地被類等／草本植物
／外来種・園芸品種



科名 ヒガンバナ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

初夏に咲く爽やかな淡紫の花に人気がある。1m以上になる長い花茎をたくさん伸ばす南アフリカ原産の大型多年草。淡紫の花をつける一般的な常緑性の品種のほか、白花をつける品種やドワーフアガパンサスと呼ばれる矮性品種がある。また、寒さに強い落葉性の品種もある。



葉



花



白花



実

Memo

アガパンサスは、ギリシャ語。「アガペー：愛」＋「アンサス：花」を組み合わせた名前。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期						■ (品種により異なる)						
🍒	果実	(花殻とともに摘み取る)											
🍂	紅葉												
🌱	施肥			■									
✂️	剪定	■					(古い葉の切除)						

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	○
寒さ	強		○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当りを好むが半日陰でも生育する。水はけよい湿った場所を好み乾燥は苦手。数株配植すると華やかな景ができる。常緑性・落葉性・矮性などがあるので、計画地に適性のある品種から選定できる。

剪定

草丈が高くなること、株が大きくなることを考慮して配置し、混み合ってきたら株分けするとよい。花後、花殻を取り除き、結実を避けると株が充実し、翌年の花つきが良くなる。

病虫害

病虫害は少ない。水はけが悪いと根腐れするので注意する。